

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	359	在宅介護支援センター運営事業	会計	01	一般会計
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える	款	03	民生費
担当部課名	健康福祉部高齢障害課		項	02	老人福祉費
作成者氏名	榊 光裕	連絡先	目	01	老人福祉総務費
		22-9657	細目	102	在宅老人援護事業
			細々目	07	在宅介護支援センター運営事業

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	要援護高齢者等	成果(どうなるのか)	要援護高齢者等の各種相談事業を実施することにより、要援護高齢者等の状態を把握するとともに、適切なサービスにつなげられるように支援する。
	本年度事業内容	市内13カ所の地域型在宅介護支援センターへ運営事業を委託(1カ所あたり2,775千円)。必要に応じて、地域ケア会議を開催し、連絡調整を行う。		
運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: 各社会福祉法人等)		根拠法令・要綱等	伊賀市在宅介護支援センター運営事業実施要綱
市内の類似施設				

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	50,325	36,159	36,159
	委託料	50,325	36,075	36,075
	運営委員報酬	0	84	84
	合計(A+B)	51,765	37,599	37,599
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	37,743	0	0
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	14,022	37,599	37,599
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
相談延べ人員	人	16143	17000	18000			

評価指標

事業の目的的成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
相談延べ人員	相談件数を指標とする。	人	16143 目標 (20000)	17000	18000
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度開始以降は、居宅介護支援事業所と連携して、相談等の機能をより高められるよう協議を行っている。 地域ケア会議を随時開催し、情報提供の場を設けるとともに、相談機能の充実が図れるように支援を行っている。 平成18年度より基幹型の機能が、地域包括支援センターへ移行したため、1カ所施設減。 地域包括支援センターの創設により、地域包括支援センターを中心とした相談支援体制を構築するとともに、本事業の設置箇所数、内容を含めた再編成について検討していく必要がある。
--

評価	必要性	4	今後も地域で高齢者福祉に関する相談支援を行う施設の存続は必要であるが、地域包括支援センターの設立に伴い、地域包括支援センター中心とした相談体制を構築するにあたり、設置箇所数及びその内容を含めた再編成について検討していく必要があるとともに、事務局体制も検討を要する。	総合評価 B
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	2		